

第1回能登半島地震復興支援県民本部会議

日時：令和6年2月16日 11時30分

場所：災害対策本部室

- 1 開会
- 2 趣旨説明
- 3 議事
 - (1) 能登半島地震復興支援県民本部について
 - (2) 県による支援活動について
 - (3) 構成員による支援活動について
 - ア 支援活動の実績について
 - イ 今後の支援活動について
 - (4) その他
- 4 閉会

能登半島地震復興支援県民本部設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、令和6年1月1日に発生した令和6年(2024年)能登半島地震における被災地及び被災者の支援を行うため、「能登半島地震復興支援県民本部」(以下「県民本部」という。)に関し、必要な事項を定める。

(組織)

第2条 県民本部に座長を置く。

2 座長は知事をもって充て、県民本部の会議の進行を担当する。

(構成員)

第3条 県民本部は、知事が依頼する者をもって構成する。

(担当事務)

第4条 県民本部の担当事務は、別表1に掲げるところによる。

(事務局)

第5条 県民本部の事務を処理するため、事務局を危機管理防災課に置く。

(委任)

第6条 前各条に定めるもののほか、県民本部に必要な事項は別に定める。

付則

この要綱は、令和6年1月5日から施行する。

付則

この要綱は、令和6年2月6日から施行する。

別表1

担当事務	1 情報の収集、整理、分析 2 県民本部による支援内容の共有・調整 3 国、知事会、市町村、関係機関の連絡調整 4 長野県の防災対策の強化に向けた意見交換 5 その他、座長が必要と認める事項
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

能登半島地震復興支援県民本部会議 構成員名簿（敬称略）
（2月16日現在）

○ 市町村関係団体

- ・長野県市長会
- ・長野県町村会

○ ボランティア、NPO関係団体

- ・長野県社会福祉協議会
- ・長野県NPOセンター
- ・長野県みらい基金
- ・長野県生活協同組合連合会
- ・日本笑顔プロジェクト
- ・ながの移動販売つなぎ局

○ 建設関係団体

- ・長野県建設業協会

○ 経済関係団体

- ・長野県経営者協会
- ・長野県中小企業団体中央会
- ・長野県商工会議所連合会
- ・長野県商工会連合会

○ 農業関係団体

- ・JA長野県グループ
- ・長野県土地改良事業団体連合会

○ 労働関係団体

- ・日本労働組合総連合会長野県連合会

令和 6 年能登半島地震に伴う県内影響及び被災地支援について

令和 6 年 2 月 15 日 (木) 15 時 00 分現在
危機管理防災課**1 地震の概要**

発生日時	令和 6 年 1 月 1 日 (月) 16 時 10 分頃
マグニチュード	7. 6
発生場所	石川県能登地方 深さ：16km
県内の震度	震度 5 弱 3 市町村 (長野市、信濃町、栄村) 震度 4 10 市 6 町 6 村 震度 3 41 市町村
各地の震度	震度 7 石川県輪島市、志賀町 6 強 石川県七尾市、珠洲市、穴水町、能登町 6 弱 新潟県長岡市、石川県中能登町

2 長野県の体制

体制	1 月 1 日 (月) 16 時 10 分 警戒連絡会議 設置 1 月 5 日 (金) 能登半島地震 長野県災害対策支援本部 設置 (※ 災害対策支援本部設置に伴い警戒連絡会議廃止) 2 月 6 日 (火) 能登半島地震復興支援県民本部に改組
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 県内の主な被害状況

人的・住家被害	人的被害：なし 住家被害：長野市 一部破損 8 棟 小谷村 一部破損 4 棟
---------	-------------------------------------------

4 被災地支援**(1) 緊急対策 (救助・救出・救援)**

支援内容	支援先	支援期間
緊急消防援助隊 (航空) : 延べ 30 名 (陸上) : 延べ 558 隊 2,006 名	小松空港 珠洲市	1/1 ~ 1/9 1/9 ~ 1/22
長野県警察災害派遣隊 : 延べ 1,693 名	石川県内	1/1 ~
ドクターヘリ	〃	1/2、5、11、14
長野県 DMAT (災害派遣医療チーム) : 49 チーム 長野県 DMAT ロジスティックチーム : 2 名	〃	1/2 ~ 2/14
長野県 DPAT (災害派遣精神医療チーム) : 2 チーム	〃	1/5 ~ 2/10

(2) 避難所等支援

支援内容	支援先	支援期間
応援給水 (県企業局含む 24 事業者)	石川県内	1/2 ~
キッチンカーによる避難所への食事提供 : 8 事業者	輪島市	2/1 ~ 2/12
物資支援 飲料水 : 500ml・24,216 本、2L・558 本 アルファ化米 : 9,100 食 ブルーシート : 4,241 枚、簡易トイレ : 5,000 袋 など ※ この他、県社協のとりまとめによる物資支援あり	羽咋市 輪島市 七尾市 中能登町	1/2 ~ 提供 : 長野県 2 市

(3) 人的支援

支援内容	支援先	支援期間
応急危険度判定士（建築士、県・市職員）：延べ 228 名	石川県内	1/4 ～ 1/21
被災宅地危険度判定士（県・市職員）：延べ 18 名	内灘町	2/13 ～
下水道復旧支援調整隊(国交省)へ同行 (県職員)：延べ 96 名	石川県内	1/5 ～
下水道管渠の被害状況調査（県・市町村職員） 一次調査：延べ 154 名、二次調査：延べ 200 名	〃	1/8 ～
上水道調査復旧作業（市町村職員）：延べ 34 名	七尾市	2/8 ～
災害廃棄物処理業務（市職員）：延べ 31 名	〃	1/13 ～ 2/3
治山施設及び山地災害危険地区等の被害状況調査 (県職員)：延べ 11 名	輪島市	2/5 ～
保健師等（県・市職員）：延べ 301 名	金沢市 小松市	1/9 ～
長野県 DWAT（災害派遣福祉チーム） 先遣隊：延べ 18 名、災福ネットチーム：延べ 216 名	能登町	1/8 ～
生活福祉資金貸付業務 (長野県社会福祉協議会職員)：延べ 8 名	志賀町	1/30 ～ 2/2
長野県合同災害支援チーム（チームながの）		
リエゾン(情報連絡員)（県職員）：延べ 84 名	羽咋市	1/5 ～
避難所支援業務等（県職員）：延べ 134 名	〃	1/6 ～
災害により発生したごみの受入れ業務 (市町村職員)：延べ 344 名	〃	1/11 ～
住家被害認定調査・罹災証明書発行に係る窓口支援業務 (市町村職員)：延べ 336 名	〃	1/14 ～
支援物資調整・避難所支援業務（県職員）：延べ 240 名	輪島市	1/8 ～
避難所支援業務（市町村職員）：延べ 452 名	〃	1/14 ～
総括支援チーム（県・長野市職員）：延べ 16 名	〃	1/14 ～ 1/21

(4) 被災者の受入れ

内容	受入対象者	受付期間
公営住宅等の提供（254 戸）	能登半島地震により居住継続が困難となった方	1/15 ～ 3/29
被災者の受入れ可能な県内宿泊施設数 2/14 15 時現在：177 施設 3,082 名	珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町にお住まいで被災された方	—

(5) その他

支援内容	支援先	支援期間等
災害義援金の受付	被災県	1/5 ～ 12/27
（公財）長野県みらい基金 被災地でのボランティア活動、被災地への支援をコーディネートする活動等への緊急助成	主たる事務所等の所在地が県内にある N P O ・ ボランティア団体等の非営利団体	（申請受付期間） 1/29 ～ 2/20

長野県合同災害支援チーム（チームながの）の活動状況（羽咋市）



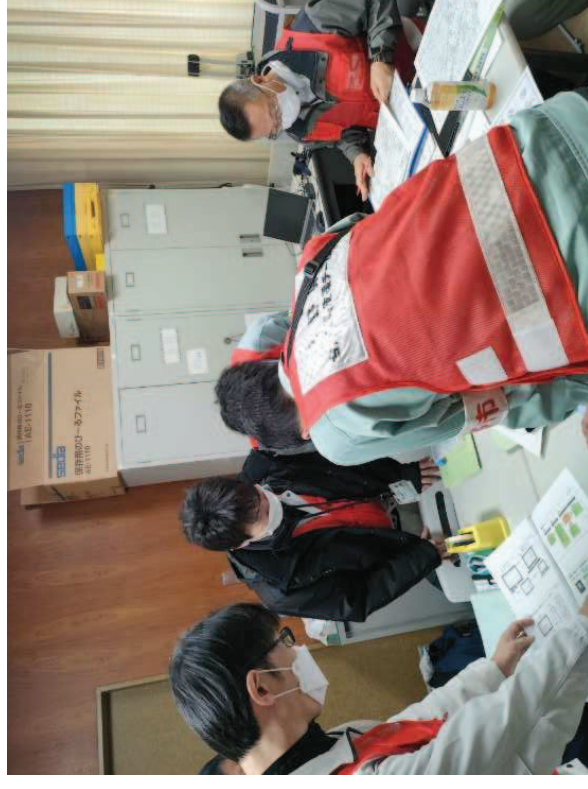
応急給水（1/6～羽咋すこやかセンター）



住家の被害認定調査（1/15～羽咋市内）



災害ごみの受入れ（1/12～羽咋運動公園駐車場）



住家の被害認定調査（1/15～羽咋市役所）

長野県合同災害支援チーム（チームながの）の活動状況（輪島市）



他機関と連携した物資搬出作業



避難所支援団体による打合せ



避難所（輪島高校）での配食支援



(作業中)

(作業後)

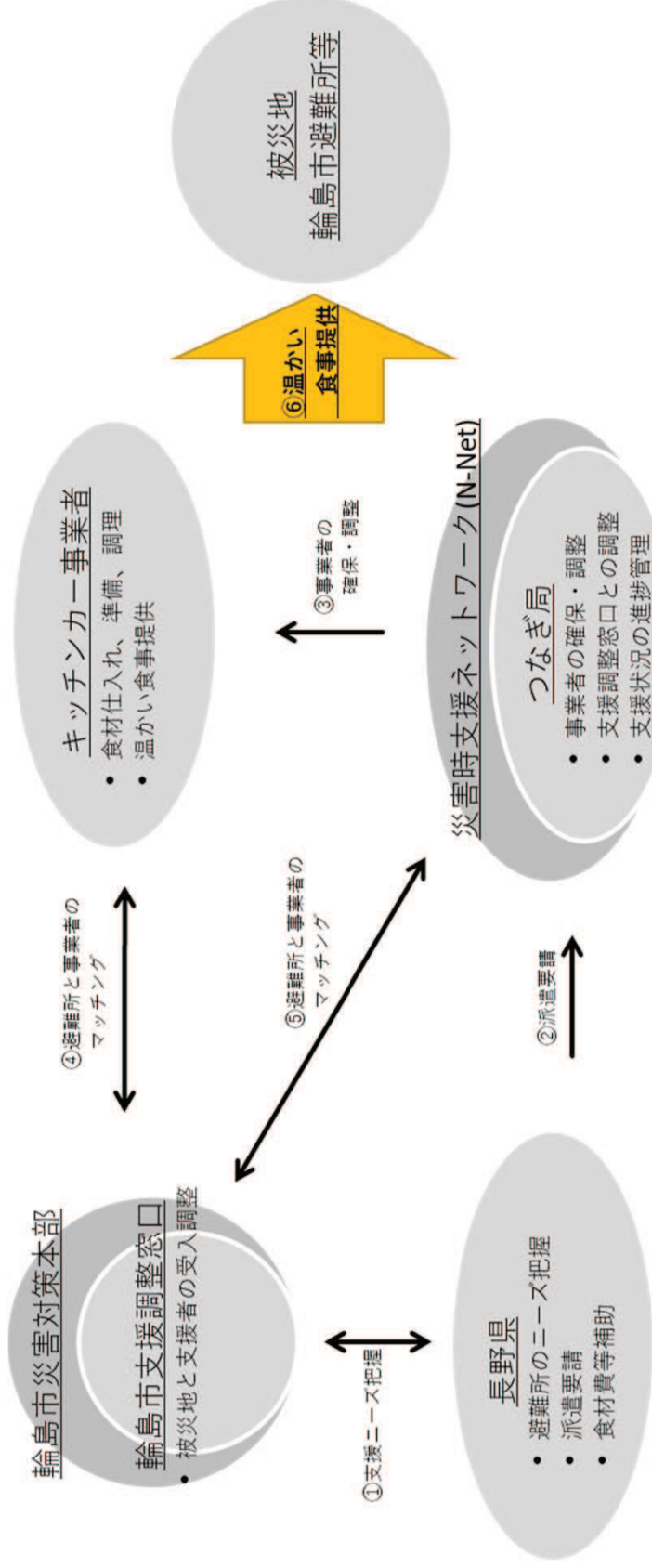
避難所（輪島高校）での段ボールベッド設置状況

1 派遣の概要

能登半島地震では多くの被災者が避難所での生活を余儀なくされ、健康の確保に向けた食事のニーズが求められるなか、避難所に温かい食事の選択肢を増やすため、本県の対口支援先となっている輪島市にキッチンカーを派遣し食支援を行った。

今回の取組は、県災害対策本部ボランティア班である長野県災害時支援ネットワークの構成団体であり、災害時の食支援について知識を有し、かつ多数のキッチンカー事業者の登録がある「一般社団法人ながの移動販売つなぎ局」と官民連携により行った。

(1) 派遣スキーム



(2) 役割

役割	
長野県	避難所のニーズ把握、派遣要請、食材費・燃料費・お皿等雑費の補助
つなぎ局	事業者との連絡・調整、事業者の確保、支援調整窓口との調整、支援状況の進捗管理
キッチンカー事業者	食材仕入れ・準備、調理、食事提供

2 食事支援の概要

令和6年能登半島地震で避難所生活で余儀なくされている方に、温かい食事提供の選択肢を増やすため、長野県からの要請により官民連携の取組でキッチンカーによる支援を実施。

● 支援期間

令和6年2月1日（木）～2月12（月）
計 11日間（2月2日（金）は支援なし）

● 支援場所

輪島市内の避難所等
（避難所、在宅避難地区、炊き出し拠点）
※輪島市支援調整窓口を通じてニーズに合う支援場所を決定

● 支援回数

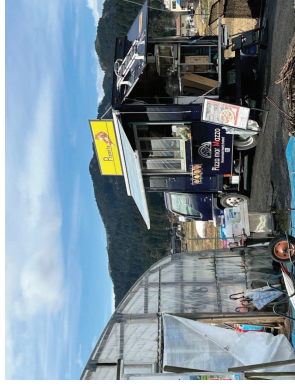
昼食20回 夕食10回 合計30回
延べ約3,450食

● 支援協力事業者

つなぎ局登録の8事業者（キッチンカー7台）

- ① デリナカズミ 長野市
- ② RIKOBO'S FOOD TRUCK 東御市
- ③ 移動屋台ikayakiこやまん 千曲市
- ④ ｲｸｲｱﾝｶﾌﾞﾞｰﾙｱｰﾐｰﾖｰ 長野市
- ⑤ Pizza mar Mazzo 中野市
- ⑥ 焼肉ハウス大將軍 松本市
- ⑦ 檜木こうじ店 小谷村
- ⑧ ロジェ・ア・ターブル 長野市

● 提供したメニューの一例



高野豆腐の卵とじ、竹ノ口汁、筑前煮、サバ味噌煮、鶏大根旨煮、和牛あんかけ丼、ロールキャブツ、スープゼリ、大阪いか焼き 等

● 評価と課題

- ・調理設備が整っているキッチンカーの機動性や個々の事業者の特徴を活かし、現地で温かい食事の提供ができた。
- ・個々のキッチンカーで提供できるメニューや食数は異なるが、輪島市の支援調整窓口において適切な支援場所が割り振られ、円滑に支援活動ができた。
- ・遠方の県外被災地で自己完結型の支援をするためには、資機材や食材、水（給排水）など想定以上の準備品が必要であった。季節によっては移動中の食材管理も課題となり得る。
- ・1台のキッチンカーが単独でできる支援には限界がある。長期に継続した支援をするためには、支援拠点化等による人員や資機材、物資輸送等の事業者間連携が必要ではないか。

2024.2.16 能登半島地震復興支援県民本部会議

資料4

非営利活動法人 長野県NPOセンター (長野県災害時支援ネットワーク事務局)

災害ボランティアについて



専門ボランティアによる支援

全国の被災地で活動経験が豊富な専門ボランティアが、
地震発生直後から駆けつけ、自己完結型で様々な専門的な支援を実施
(114団体が活動中 2月13日時点)

ピースウィンズ・ジャパン、BIGUP石巻 (珠洲市)
ピースポート災害支援センター (輪島市)
OPEN JAPAN (能登町)
レスキューストックヤード (穴水町) など
被災地NGO協働センター (七尾市)
災害NGO結 (ゆい) (被災地全般)

※上記のNPOが市町ごとに
核となって被災地を支援

JVOAD ジェイボアード
(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)

専門ボランティアと国・県・市町の連携
をコーディネート (県庁内に常駐)

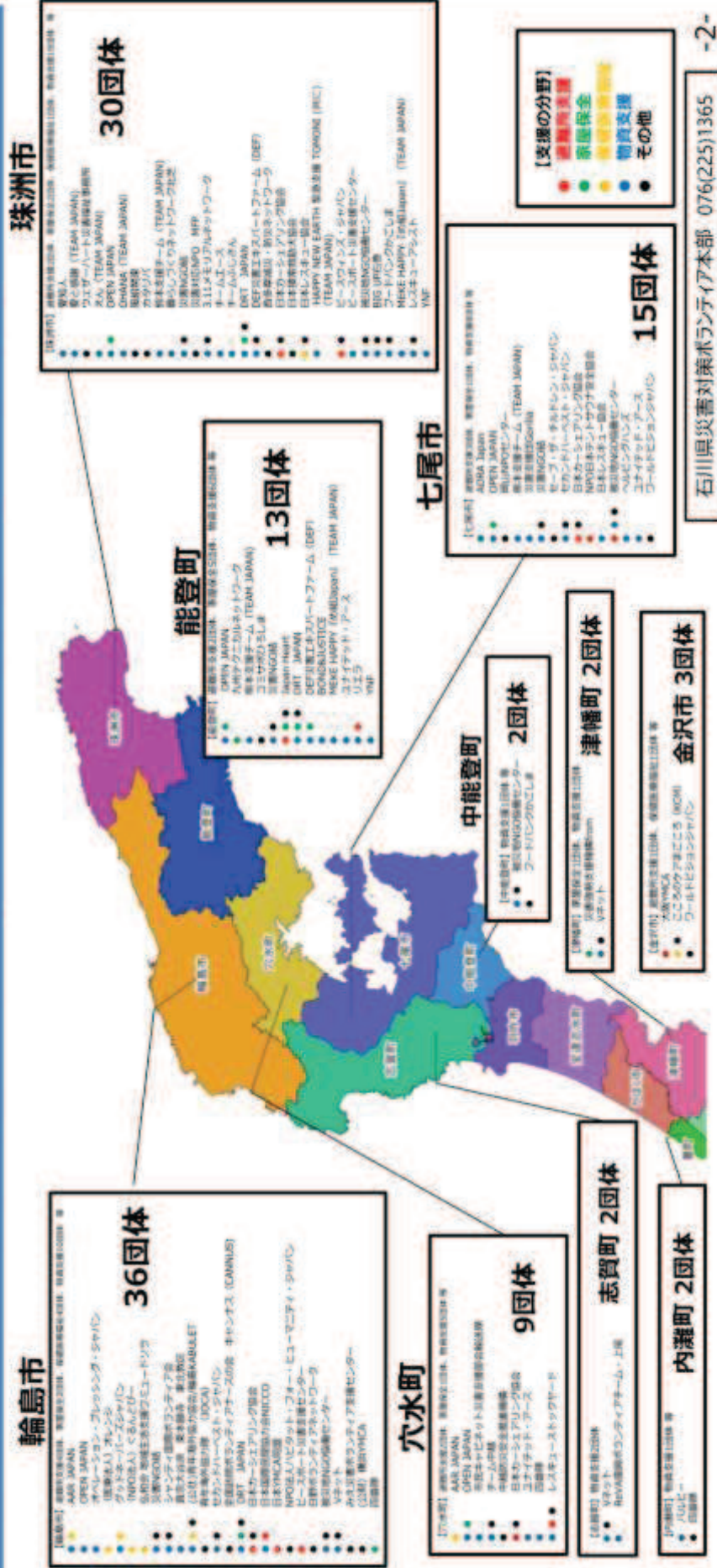


石川県庁でのJVOAD打合せ

災害ボランティアについて



各地域での専門ボランティアの活動状況 (114団体)



災害ボランティアについて



専門ボランティアによる支援の主な事例

〈避難所への支援〉

- ・1次・1.5次避難所運営への助言
例) YMCA (いしかわ総合ホースセンター)
- ・子どもや高齢者などへの支援
- ・民間の炊き出し団体の調整

〈被災家屋の保全〉

- ・住宅の応急対応 (ブルーシート張り等)
- ・重機による災害ゴミの撤去など
例) DRT-Japan (珠洲市など)

〈在宅被災者の把握〉

- ・高齢者の状態把握のため、被災地を巡回



写真提供：レスキューネットワーク

避難所で足湯を提供する支援団体



写真提供：レスキューネットワーク

避難所の段ボールベッド組み立て



写真提供：レスキューネットワーク

炊き出しを行う支援団体



写真提供：DRT-Japan

重機支援

災害ボランティアについて



避難所におけるボランティア活動

○1.5次避難所 (いしかわ総合スポーツセンター・産業展示館)

<活動人数>

1日あたり60名程度

活動実績 **延べ850人** (2月13日現在)

<主な作業内容>

- ・避難所の案内
- ・食事の配膳
- ・食料、物資等の運搬や補充
- ・避難所内の清掃、ごみの管理 など

※その他、各種団体による炊き出しも行われている。



食事の配膳

清掃活動



災害ボランティアについて



避難所におけるボランティア活動

○2次避難所（ホテル・旅館等）

＜活動事例＞

- ・炊き出しの振る舞い（めった汁、豚汁、おでんなど）
（金沢市、小松市、白山市、野々市市）
- ・避難所での体操（能美市）
- ・ハンドマッサージ、傾聴ボランティアの実施（能美市）
- ・音楽療法によるフレイル予防（加賀市）



写真提供：金沢市社会福祉協議会
金沢市福祉政策課

めった汁の炊き出し



写真提供：能美市社会福祉協議会

避難所での体操



写真提供：能美市社会福祉協議会

傾聴・ハンドマッサージ

災害ボランティアについて

一般ボランティア受け入れまでの流れ

道路の復旧など、**安全・円滑に活動できる環境が確保されてから**
市町の要請を受けて軽作業を実施

・ 県の特設サイトにおける事前登録者数（2月13日現在）**約25,000人**（県内約5,500人 県外約19,500人）



災害ボランティアについて



一般ボランティアの募集と活動

・事前登録者からのボランティアの募集（8市町）

※2月13日現在

自治体	一日あたり人員※	活動開始	活動実績
輪島市	55名程度	2月10日(土)	109人
珠洲市	30名程度	2月3日(土)	174人
穴水町	15名程度	1月27日(土)	276人
能登町	30名程度	2月8日(木)	79人
七尾市	80名程度	1月27日(土)	640人
志賀町	50名程度	1月27日(土)	738人
羽咋市	15名程度	2月10日(土)	13人
中能登町	20名程度	2月3日(土)	176人
計	295名程度	計	延べ2,205人

・その他、7市町も独自に市町民を対象にボランティアを募集し、活動中
 (宝達志水町、津幡町、かほく市、内灘町、金沢市、白山市、加賀市)

災害ボランティアについて



ボランティアバスの運行

被災地の道路・交通状況を考慮して、個別に現地に入るのではなく、**県がボランティアバスを運行し、まとまって被災地へ派遣**

例) 珠洲市への行程

6:45 金沢駅発 (県職員がバス添乗)

10:45 珠洲市着

現地ボランティアセンター職員による
オリエンテーション

ボランティア作業 (3～4 時間程度)

数人の班に分かれて、被災家屋での片付け、搬出など

15:00 珠洲市発

19:30 金沢駅着



災害ボランティアについて



他県や大学等による協力

○他県からの応援職員の派遣

全国知事会を通じ、7県（山形、岐阜、兵庫、岡山、福岡、大分、沖縄）の
応援職員がボランティアバスに添乗（2月6日～）

○他県発のボランティアバスの運行

福井県（2月12～15日） 30名/日

富山県（2月17・18日） 30名/日

○大学によるボランティア参加

金沢大学・金沢工業大学・県立看護大学 1.5次避難所の支援（1月17日～）

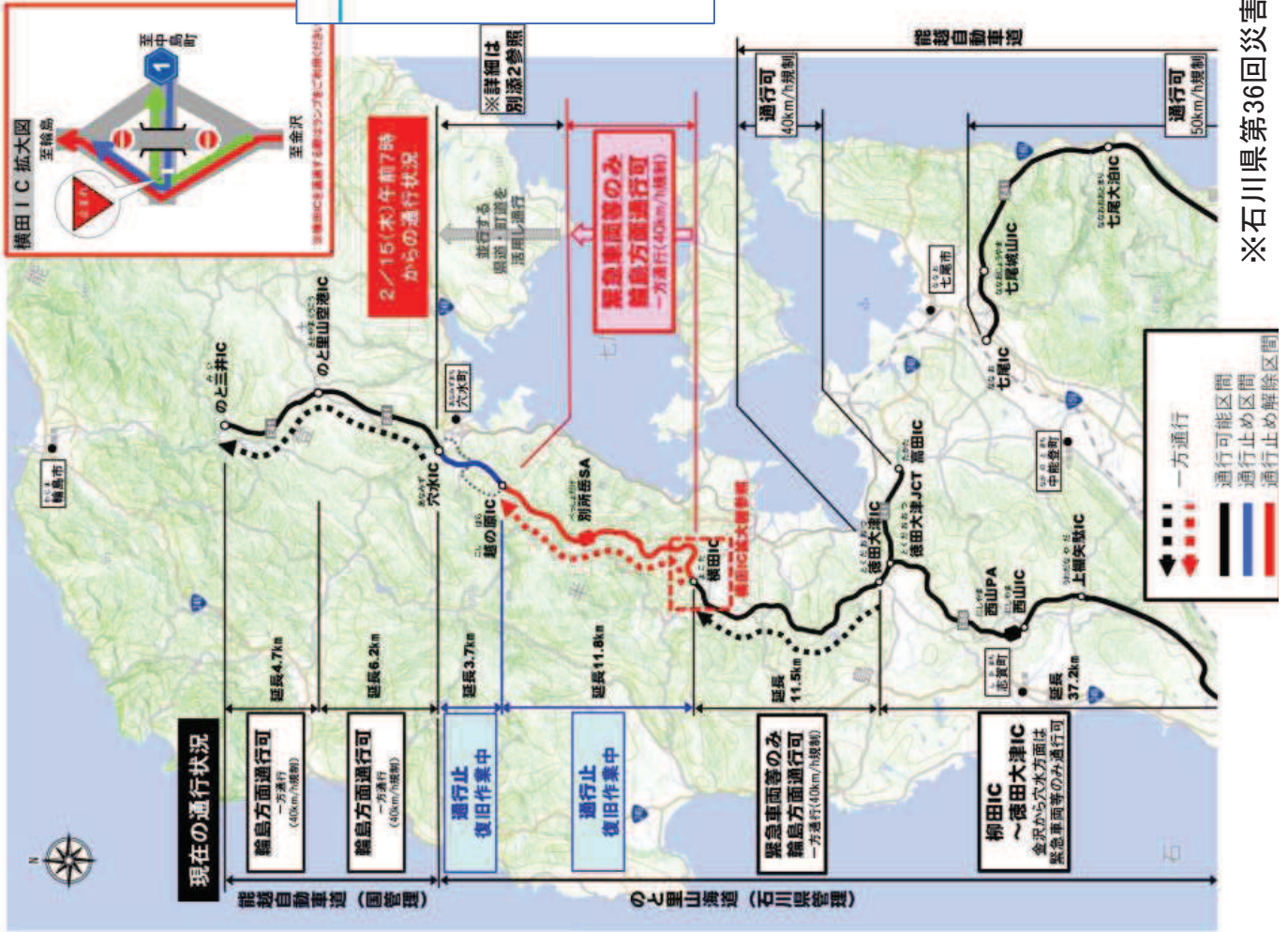
金沢大学（2月中下旬） ボランティアバス運行 30名程度/日

金沢星稜大学（2月下旬） ボランティアバス運行 30名程度/日



ボランティアバス

能越自動車道・のと里山海道の通行状況



災害ボランティアについて

皆様のご支援に、心から感謝します。
能登の復興に向け、引き続き、ご協力をお願いいたします。

※改めて、当面、一般ボランティアの皆様には、金沢発のボランティアバスで被災地に入っただけのため、個別での被災地への訪問はお控え下さい。

現状で考えられる民間支援

- 1 ボランティアによる被災者支援活動が行える環境の提供
 - ①NPO等、専門的な知見を有する団体への活動支援
例：信頼のおけるNPO等の団体に対する助成
 - ②災害ボランティア(個人)の活動支援
例：団体による支援となるようボランティアバスを運行するなど
- 2 中期の支援
二次避難所・地域コミュニティへの支援(サロン活動)など
- 3 長期の支援
能登半島への観光など

※石川県庁内でNPO等による支援活動を調整している災害中間支援組織の
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)等から意見を聴取

長野県社協 災害ボランティア・福祉支援情報	2023 年度	No.10
	令和 6 年 2 月 13 日	
長野県社協災害福祉支援本部 電話 026-226-1882 fax026-227-0137		
ホームページ https://www.nsyakyo.or.jp/ メール vcenter@nsyakyo.or.jp		

「令和 6 年能登半島地震」により、被災された皆様に心より お見舞い申し上げます。被害情報・支援情報は、石川県ホームページ、全社協・被災地支援ボランティア情報ホームページをご参照下さい。

〔災害ボランティア本部情報〕

■被災者の皆様や支援者を支えるための募金への協力をお願いします。

- ・ 石川県「[令和 6 年能登半島地震に関わる災害義援金](#)」のお願い
- ・ 中央共同募金会「[ボラサポ・令和 6 年能登半島地震](#)」支援金募集

■ボランティアの力が求められています。

・被災地でのボランティアの活動について

交通事情等様々な制約がありますが、石川県、被災市町村ボランティアセンターや民間支援団体によりボランティアの受入れが始まっています。十分な情報収集を行ったうえで、支援活動を計画してください。

- ⇒ 一般ボランティアの募集は、石川県のボランティア受付に登録して、マッチングの連絡をお待ちください。
- ⇒ 炊出しについては、石川県のお問合せフォームから詳細（メニュー予定、何人前かなど）を連絡するよう周知されています。（[石川県HP](#)）
- ⇒ 能登町をはじめとする奥能登地域では、様々な支援技術や経験をお持ちのNPO等を対象として、ボランティアの受入れを行っている団体があります。詳しくは、長野県社協までお問合せください。

〔活動例〕

炊き出し、福祉・介護専門業務、簡単な大工仕事など

・能登町災害ボランティアセンター「長野県民限定募集」について

活動日：毎週水～金（おすすめ日程、2泊3日、移動2日+活動1日）

募集数：当面、毎週1団体（5～10人）

※マイクロやロングバン等1台、軽トラ随行は大歓迎

※当面、市町村社協が主催、または協力する団体に限ります。

活動先：能登町災害ボランティアセンター

宿泊先：能登町内

申 込：[WEBフォーム](#)から日程を予約。

県社協からの予約確定の連絡をふまえて募集を行ってください。

なお、長野県大規模災害ボランティア活動助成を申請可能です。

・入浴支援プロジェクト

- ⇒ 訪問入浴車、温泉配達、入浴支援ボランティアの活動状況はこちら（[長野県社協HP](#)）

・大募集中！

⇒ 使わなくなった「軽トラ」大募集！

- ・ 現地での活動に伴って傷ついたりしても差し支えないもの
- ・ 必要な状況：車検・保険が概ね3月末までであるもの、スタッドレス、4輪駆動、原則個人名義でないもの

■長野県内のボランティア活動への助成

- ・ 県社協では、被災地でボランティア活動を行う団体・グループの活動費の一部を助成する「長野県大規模災害ボランティア活動応援事業」の申請窓口となっています。助成対象となるボランティア活動は、次のいずれかのセンター等の募集に応じ、当該センター等の証明を受けることが可能な活動です。各センター等が、県外を含むボランティア募集を開始して以降の活動が対象となります。

- 被災市町村災害ボランティアセンター
- 被災市町村の指定避難所
- 長野県内に拠点のある災害NPO（長野県社協が協定を締結している団体）

- ・ また、次の助成金の申請も行われています。

⇒ 災害ボランティア・NPO活動サポート募金（ボラサポ・令和6年能登半島地震）

⇒ 令和6年能登半島地震災害支援基金 連合長野・緊急助成（第1期助成）

■被災地災害ボランティアセンターの運営支援

- ・ 全社協災害ボランティア支援プロジェクト会議（支援P）

長野県内社協DSAT（災害VC運営支援者）先遣隊は、全社協災害ボランティア支援プロジェクト派遣として、奥能登地域の災害ボランティアセンターの運営を支援しています。

- ・ 関ブロ社協災害時相互応援協定に基づく派遣

石川県中能登町災害ボランティアセンターの支援のため、同協定に基づく支援要請があり、長野県内からも3名（県社協1名、市町村社協2名）×2クールを順次派遣しています。

- ・ 県内市町村の取り組み

茅野市社協では、行政が相互応援協定を締結している富山県氷見市災害ボランティア・支え合いセンターへ職員の応援派遣をおこないました。詳しくは、[（長野県社協HP）](#)

[長野県災福ネット情報 … 県内福祉等の23団体で構成 …]

■長野県災害派遣福祉チームについて

長野県災福ネットでは、市町村社協、社会福祉団体、社会福祉法人の協力を得て、石川県能登町の依頼にお応えして災害派遣福祉チームを派遣しています。1月19日、同町小木支所敷地内に福祉避難所の開設を支援。当面の間、長野チームが主体となって避難所運営を支えます。また、小木中学校に福祉チームを常駐させて「福祉なんでも相談」を実施しています。



石川県能登町健康福祉課福祉係
千場課長補佐（写真左）

「各避難所で、高齢者等の介護や支援が必要な方をギリギリの状態を支えている状況の中、長野県ふくしチームが中心となって福祉避難所を設置。心配な方を受け止めることで、現在でも40か所を越える避難所運営が何とか回っている状況です。引き続きの支援を、ぜひ、お願いします。」

■長野県災福ネット緊急セミナー 2月15日（木）14:00～、オンライン

長野県災福ネットの石川県能登町への支援活動について、これまでの経過と、今後の取り組みについて学ぶオンラインセミナーです。

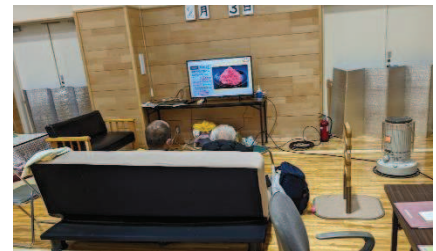
前日、17時までにお申し込み下さい。



小木中学校避難所で大好評のラジオ体操。他の避難所でも取り入れるようになっていきます。



二次避難の案内、自宅の片付けボランティアちらしなど、様々な情報掲示（小木中避難所）



福祉避難所で、その人にあわせてくつろいでいただくコーナーを設置。

■長野県ふくしチームの活動が紹介されます。



NHKおはよう日本 2月15日(木)、朝7時から

SBC(信越放送) 長野県ふくしチームのあゆみと能登町支援を紹介(予定)

2月14日(水) SBCニュースワイド 18:15～18:55

2月16日(金) TBSの昼ニュース 11:40～11:50

■長野県災福ネットの活動を協賛金で支えてください。

○ 件 名 長野県災福ネット「令和6年能登半島地震支援活動」協賛金

○ 申 込 [WEBフォームからお申し出ください。](#)

応援金は、1口10,000円をお願いしております。

当該フォームに記載した指定口座にお振込をお願いします。

能登半島地震・日本笑顔プロジェクト災害支援

1月1日 発災

1月2日 情報収集

1月3日 能登半島・珠洲市へ第1陣(ダンプ1台+重機、トラック+四輪バギー)



自衛隊と孤立集落へ通じる土砂撤去



警察と救助犬チームと人命捜索



車両レスキュー・道路啓開



栗菓子・りんご・りんごジュース・野菜等の支援物資



オリジナル特製ドラム缶風呂を活用した足湯と入浴提供



ドラム缶風呂のオキ火を活用した焼きりんごの提供



冬物の下着や靴下の支援



財産確保と家屋修繕

1月3日～2月17日まで切れ目なく第13陣・延べ人数38名が珠洲市内で活動。

現在、蛸島漁港と日置ハウスの2拠点をベースに活動中。

20日から第14陣が現地へ入り、今後も活動を継続予定。

連合長野・緊急助成 被災地支援事業を公募します

R6 能登半島地震災害支援基金 (第1期助成)

令和6年(2024年)1月1日に発生した能登半島地震において被災された皆さま、並びにそのご家族の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

長野県みらい基金では、長野県、日本労働組合連合会長野県連合会(連合長野)、(福)長野県社会福祉協議会、(福)長野県共同募金会と連携し、被災地で求められる緊急対応に加え、被災者の方々のその後の生活再建までを継続的に支援していくため、「令和6年能登半島地震災害支援基金」を立ち上げました。

本基金では第1期助成として、連合長野及び同長野地域協議会からいただいた御厚志を原資に、冠基金として長野県内の団体が行う能登半島地震災害支援活動に対し、緊急助成を行います。

1 対象団体

- ① 特定非営利活動法人(NPO法人)、ボランティア団体など公共的活動を行う非営利の民間団体(規模や法人格の有無は問いません。)
- ② 主たる事務所等の所在地が長野県内にある団体
- ③ 長野県の公共的活動応援サイト「長野県みらいベース」の登録要件に合致する団体(未登録の場合は助成金交付までに登録手続きをお願いします。)

2 助成対象となる活動

- 被災地へのボランティア活動
- 被災地への支援をコーディネートする活動
- 被災地で求められる緊急対応や被災者の方々のその後の生活再建のための活動

活用例：被災地のがれき撤去(軽トラックや重機オペレーターの確保など)、ボランティアや支援物資の輸送、避難所への温かな食事提供、仮設住宅でのコミュニティづくり など

3 助成額

1団体あたり最大20万円(全10団体程度) ※他の助成金との併用も可

4 スケジュール

- 申請受付期間：1月29日(月)～2月20日(火) ※データ必着
- 助成決定：3月上旬
- 活動実施期間：令和6年能登半島地震の発災日～当面の間
※助成決定以前の実績分も対象経費にできます。

詳しくは、公共的活動応援サイト「長野県みらいベース」をご覧ください。
<https://www.mirai-kikin.or.jp/crown-program/4769/>



第2期助成に向けた寄付のお願い

緊急救援や応急対応が一定収束する発災数か月後以降も、被災地の生活再建や能登半島を中心とする地域全体の復興を応援していくためには、継続したNPOやボランティアの活動が必要です。

第2期助成への温かいご寄付・ご協力をよろしくお願いいたします。

<https://www.mirai-kikin.or.jp/donation-program/4732/>



長野県みらいベース
キャラクターKiffy(キッピー)

公益財団法人 長野県みらい基金

(理事長) 高橋 潤 (担当) 小松路子、上沼 薫

〈松本事務所〉

〒390-0852 松本市島立1020 長野県松本合同庁舎2階

電話 0263-50-5535(内線2814) FAX 0263-50-6561

E-mail matsumoto@mirai-kikin.or.jp

緊急寄付募集

令和6年 能登半島地震 災害支援基金

被災地においては、NPO/NGO や地元企業、緊急救援 NGO などが被災者支援活動の展開をはじめています。その活動を支えるためには被災者に直接提供される義援金だけではなく、支援活動を支える「支援金」が必要です。

長野県、(福)長野県社会福祉協議会、(福)長野県共同募金会、日本労働組合総連合会長野県連合会(連合長野)他 関係機関と連携し、変化していく被災支援のニーズをとらえ、長野県内の公共的活動団体、NPO 等の幅広い支援活動への敏速な助成を通じて被災地支援を行います。

募集期間

令和6年1月9日(火)～当面の間

寄付の方法

公共的活動応援サイト「長野県みらいベース」
下記 URL からお入りください。

<https://www.mirai-kikin.or.jp/donation-program/4732/>
クレジット・銀行振込・郵便振替または現金で寄付ができます。



公益財団法人

長野県みらい基金

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下 692-2
TEL 026-217-2220・FAX 026-217-2221

【お問い合わせ先】

松本事務所

TEL 0263-50-5535・FAX0263-50-6561

被災地の皆さんが一日でも早く元の生活に戻れますように 皆様の温かいご支援、どうぞよろしくお願いいたします

【あなたの寄付でできること】

能登半島地震の被災地で支援活動を行う、長野県の NPO やボランティア団体などの活動費に役立てられます。

(活用例)

被災地へのボランティア活動・被災地へのボランティアをコーディネートする活動

→災害廃棄物の収集に必要な軽トラックの諸費用、重機オペレート、被災地へボランティアや支援物資の移動や輸送費、避難所での温かな食事提供、仮設住宅でのコミュニティづくりなど

■ホームページから

クレジットカード、銀行振込、郵便振替または現金で寄付ができます。
長野県みらいベース
<https://www.mirai-kikin.or.jp/donation-program/4732/>



■直接送金

寄付いただいた方のご氏名(法人名)、振込口座名義、住所(法人所在地)を
電話あるいはメールにより、以下の連絡先までご連絡ください。

公益財団法人長野県みらい基金 松本事務所
電話 0263-50-5535 (受付時間 平日の午前9時から午後5時まで)
メール matsumoto@mirai-kikin.or.jp

■本で寄付(チャリボン)

読み終えた本でも寄付できます。詳しくは長野県みらいベース(上記サイト)から

口座名義：公益財団法人長野県みらい基金

- ・八十二銀行 県庁内支店(212)..... 普通 728194
- ・長野県労働金庫 本店営業部(371)..... 普通 5044208
- ・長野県信連 本店(010)..... 普通 0022778
- ・ゆうちょ銀行 五九支店(059)..... 当座 0087422

※長野県みらい基金への寄付金は、寄附金控除等の税制上の優遇措置の対象になります。

○皆様のご厚志で成り立つ本基金では、被災地への支援団体を公募し、迅速かつ公正な審査を経た上で助成させていただきます。

○活動報告は、助成先団体より速やかにホームページ等で情報公開をいたします。

【お問い合わせ・お申し込み】

公益財団法人 長野県みらい基金 松本事務所
〒390-0852 松本市島立 1020 松本合同庁舎 2 階
TEL 0263-50-5535 FAX 0263-50-6561
E-Mail matsumoto@mirai-kikin.or.jp